

第 10 産業 経 済

第 10 産 業 経 済

群馬県経済は、緩やかな回復基調にあるものの、県内中小企業の経営は、エネルギー価格・原材料費の高騰、人手不足を背景とした防衛的な賃上げなど、複合的な課題を抱え、依然として厳しい状況に置かれている。

産業経済部では、エネルギー価格・原材料費高騰等に加え、コロナ禍の影響が残る事業者を支援するため、商工団体や金融機関等と連携した制度融資による資金繰り支援、適正な価格転嫁を進めるためのパートナーシップ構築宣言の推進、特別高圧電力価格高騰対策支援等を実施するとともに、宿泊料金の割引などを行う愛郷ぐんま全国割により、観光需要を喚起した。

また、未来へ向けた取組として、産業経済分野の基本指針となる新たな群馬県産業振興基本計画の策定やG7群馬高崎デジタル・技術大臣会合の受入れ等を行った。さらに、新たな価値や富を創出するための取組として、デジタル技術を活用した新ビジネスの創出や自動車産業の構造転換に対応するための支援を行うとともに、スタートアップ企業を支援した。

加えて、近未来構想の実現に向け、リトリートの聖地とするための観光施策を行うとともに、デジタルクリエイティブ人材の育成や、クリエイティブ産業の集積・創出に取り組んだ。

【令和5年度の重点施策及び主な取組】

- 1 エネルギー価格高騰等やコロナ禍の影響が残る既存産業の立て直し
 - ・ パートナーシップ構築宣言の推進
 - ・ 特別高圧電力価格高騰対策支援
 - ・ 愛郷ぐんま全国割
- 2 未来へ向けた取組
 - ・ 群馬県産業振興基本計画の策定
 - ・ G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合の受入れ
- 3 新たな価値や富を創出する取組
 - ・ デジタルイノベーションの加速化
 - ・ 次世代モビリティ産業参入支援
 - ・ スタートアップ支援
- 4 近未来構想の実現に向けた事業の推進
 - ・ 心と身体をリセットするリトリート聖地化のための観光施策
 - ・ デジタルクリエイティブ人材の育成及びクリエイティブの拠点化

1 産業政策費

(1) 社会参加費

決算額 983 千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聴き県政に反映するとともに、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体との会合に伴う会費等を支出した。

所 属 数	金 額
産 業 経 済 部 6 課 6 所	983 千円

(2) 産業政策企画推進

決算額 16,485 千円

① 産業情報収集・サポートガイド作成

ア 経済産業省等の発表資料や、県内中小企業・関係団体に関わる情報を収集、分析し、県内経済の状況を把握したほか、県内中小企業の経営実態や将来の見通し等を把握するため、経済団体(中小企業団体中央会、商工会議所連合会、商工会連合会)等と協力して、アンケート調査を実施した。

イ 県や国等の中小企業支援施策、制度を網羅した「企業サポートガイド」を作成した。

② 群馬県産業振興基本計画策定

群馬県における産業振興の方向性を明確にし、更なる経済発展を図るため、「新・群馬県総合計画(ビジョン・基本計画)」を踏まえ、産業経済分野の基本指針となる新たな群馬県産業振興基本計画を策定した。

③ SDGs 推進

産学官金連携の下、県内企業のSDGsへの取り組みを推進するぐんまSDGs推進ネットワークに対して、負担金を支出し、SDGsを経営戦略として活用する企業の増加や持続可能な経営への転換を促すための普及啓発や情報発信を実施した。

区 分	参 加 者
普及啓発(群馬県中小企業SDGs始動事業)	延べ 78 団体
情報発信(SDGsぐんまビジネスプラクティス紹介団体)	36

④ 教育イノベーションプロジェクト

ア 自由な発想育成プロジェクト

中高生などの若年層を対象に、自分の頭で未来を考え、動き出し、生き抜く力を持つ「始動人」を育成・輩出することを目的とした事業を実施した。

区 分	事業内容	実績
始動人 Jr. キャンプ	中高生を対象に地域課題解決型の教育プログラムの実施(プログラム日数:7日間)	参加者数 28 名
始動人 Jr. インキュベーション	社会課題を解決するアイデアを持つ中高生と企業とをマッチング	4 件成立

イ 大学連携による産業人材育成プロジェクト

群馬県の主力産業である自動車関連産業の発展に向けて、デジタル等に関する知識と技能をもって、新たな価値を生み出し、同産業の未来を牽引する人材を育成するため、県内産学官の連携による公開講座等を実施した。

区 分	事業内容	参加者
産業人材育成講座	大学生等を対象とした、自動車関連産業を牽引する人材育成を目的とした県内産学官の連携による公開講座（全6回）	61名

(3) 感染症対策産業経済支援

決算額 582,620千円

① 物資供給管理システム運営

新たな生活様式への対応が求められる中、品質の高いマスクを地産地消により安定的に供給するプロジェクト「群馬県マスク地産地消推進プロジェクト」を実施。県産マスクを安心して確実に購入できるように、物資供給管理システムの運営と民間事業者のノウハウを活用した仕組みを運用した。

協力企業数	購入申込枚数
6社	16万枚

② 新ぐんまチャレンジ支援金

コロナ禍や原油価格・物価高騰で厳しい業況の中で前向きな取組を行う事業者を対象に「新ぐんまチャレンジ支援金」を支給した。

(令和6年3月31日現在)

区 分	支給件数	支給金額
新ぐんまチャレンジ支援金（繰越分）	1,366件	414,115千円

③ 感染症対策県内企業ワンストップセンター設置

県内企業が抱える新型コロナウイルス感染症に起因する資金繰りや雇用維持等の相談に対応した。※令和5年度末をもって廃止

(令和6年3月31日現在)

区 分	相談件数
感染症対策県内企業ワンストップセンター	41件

(4) イベント産業振興

決算額 105,203千円

① Gメッセ群馬の運営

指定管理者と連携し、適正な管理・運営を実施した。

また、施設や設備を適切に維持・運用するため、点検・改修・修繕を実施した。

ア Gメッセ群馬利用実績(令和5年度)

区 分	実 績			
利用件数	1,185件(催事別内訳)			
	学会・大会	29件	式典	11件
	講演会・セミナー	290	その他イベント	118
	会議	514	コンサート・ライブ	1
	展示会	81	その他興行	10
	試験・就職説明会	128	自主事業	3
日数稼働率	施設全体 : 97.5%			
	展示ホール : 47.9%			
	メインホール : 72.6%			

区 分	実 績
来場者数	335,775 人
収支	40,689 千円 (収入：661,700 千円、支出：621,011 千円)

イ 主な点検・改修等

業 務 名
北口線植栽管理工事
雨水排水ポンプ設備点検保守業務
雨水貯留槽点検清掃業務
会議室音響システム改修工事
バンプ設置及び屋外サイン追加設置工事

② M I C E の推進

M I C E の誘致活動、開催支援及びイベント主催者と県内事業者のマッチング支援について、「群馬県コンベンションビューロー」と連携し実施するとともに、東京で開催された M I C E に関する商談会へ（公財）群馬県観光物産国際協会及び（公財）前橋観光コンベンション協会とともに出展した。

G 7 群馬高崎デジタル・技術大臣会合において、各国政府関係者等を対象とした地元主催の歓迎レセプションを開催したほか、会合に合わせて国が開催した最先端のデジタル技術を体感できる「デジタル技術展」に、映像クリエイティブ関連展示を実施した。

※M I C E とは、企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

ア M I C E 誘致・イベント産業支援実績

区 分	件 数
M I C E 誘致件数	10 件
マッチング支援件数	51

(5) 中小企業連携組織対策

① (公財) 群馬県産業支援機構運営費補助 決算額 124,340 千円

中小企業の中核的支援機関である（公財）群馬県産業支援機構の運営費を助成し、中小企業経営力強化、地域経済の活性化を図った。

事 業 名	補 助 額
(公財) 群馬県産業支援機構運営費補助	124,340 千円

・令和 5 年度事業実績 (主な事業・他の委託事業費も含む)

区 分	内 容
経営支援	ビジネスサポート BASE ぐんま運営(相談 1,732 件)、よろず支援拠点 (相談 14,186 件)、事業承継・引継ぎ支援センター (相談 315 件、成約 31 件)、プロフェッショナル人材戦略拠点 (相談 245 件、成約 35 件)、中小企業活性化協議会 (相談 129 件、再生計画策定実績 52 件)

区 分	内 容
取引開拓支援	下請取引あっせん（紹介 352 件、成立 32 件）、広域商談会（受注商談 245 件）・個別商談会（商談 103 件）の開催、展示会出展支援（2 回、143 社）、下請取引適正化事業（相談 196 件）
ものづくり技術・産学連携支援	群馬ものづくり現場新人研修（2 回、106 人）、スマートファクトリー創出支援（導入 39 件）、競争的資金獲得支援等（106 件）

② 中小企業連携組織対策事業費補助 決算額 136,710 千円

群馬県中小企業団体中央会に人件費を補助し、中小企業の組織化及び事業協同組合等への指導を行うとともに、同会が行う会員の人材育成や経営力強化などを支援し、中小企業の連携組織対策の推進を図った。

事 業 名	補 助 金 額
群馬県中小企業連携組織対策事業費補助金	136,710 千円

・補助対象職員数・指導実績

区 分	内 容
補助対象職員数	指導員 18 人、職員 2 人
指導実績	実地指導 1,239 件、窓口指導 1,993 件

(6) 小規模事業対策 決算額 1,640,872 千円

① 小規模事業経営支援事業費補助

商工会・商工会議所が行う経営改善普及事業等及び商工会連合会が行う商工会指導事業等に助成し、小規模事業者の振興と経営の安定を図った。

主な事業活動の内容は、次のとおり。

- ・金融、税務、経理、販売管理、労務、技術の改善その他経営に関する指導等
 - ・小規模事業者の経営の改善発達に資する地域の活性化又は商工業の振興に関する事業の実施、協力、指導
 - ・経営、技術、各種制度等に関する情報、資料の収集及び提供
- 令和 5 年度における主な事業実績等は以下のとおり。

・補助対象職員設置数 （令和 5 年 4 月 1 日現在）

区 分	団体数	経営指導員	経営支援員 （旧補助員）	経営支援員 （旧記帳専任職員）	事務局長
商工会	43 団体	91 人	47 人	27 人	30 人
商工会議所	10	70	22		3
商工会連合会	1	20	5		
計	54	181	74	27	33

・指導実績

区 分	指 導 件 数		
	巡回指導	窓口指導	創業指導
商工会	29,271 件	26,759 件	361 件

区 分	指 導 件 数		
	巡回指導	窓口指導	創業指導
商工会議所	10,585 件	16,472 件	371 件
商工会連合会	930	1,115	8
計	40,786	44,346	740

・補助額

区 分	補 助 金 額
商工会連合会・商工会	1,141,688 千円
商工会議所	486,466
計	1,628,154

② 小規模事業者エキスパートバンク事業費補助

商工会議所及び商工会連合会が小規模事業者及び創業を予定する者に専門家を派遣し、指導助言等を行うことにより、経営改善を図る経費の支援を実施した。

事 業 名	事 業 内 容	補 助 金 額
小規模事業者エキスパートバンク事業費補助	派遣回数 182 件	6,417 千円

③ 商工会議所連合会補助

群馬県商工会議所連合会が行う商工業者振興事業等及び各商工会議所が行う広報活動事業等に助成し、商工会議所連合会及び各商工会議所の健全な育成と振興を図った。

事 業 名	補 助 金 額
群馬県商工会議所連合会補助	6,300 千円

④ 中小企業サポーターズ制度

県内の金融機関と、中小企業支援機関との連携による企業支援制度「群馬県中小企業サポーターズ制度」を県が運営し、きめ細かな中小企業の経営支援を展開することにより、県内中小企業の経営力のさらなる向上を図った。

区 分	発行回数
県中小企業サポーターズメールマガジン	24 回

(7) 計量検定所

決算額

26,393 千円

計量法に基づき、特定計量器の検定及び検査等を実施するとともに、特定計量器を製造又は使用する事業者に対する立入検査を行い、正確な計量器の供給と適正な計量の確保を図った。

区 分	検定・検査数
検定（タクシメーター、燃料油メーター、血圧計等）	11,555 個
検査（基準器検査、計量証明検査等）	382
立入検査（燃料油メーター、商品量目、届出・登録事業者等）	70 戸
「指定定期検査機関」による定期検査	2,298 個

2 未来投資・デジタル産業費

(1) デジタル産業創出

決算額

133,227 千円

① ぐんま未来イノベーションLAB

令和4年度に設立した、オープンイノベーションによる新たなビジネス創出等を目的とした異業種連携のプラットフォーム「ぐんま未来イノベーションLAB」により、

経営者や中核人材を対象とした連続セミナー・交流会を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
未来イノベーションLAB 運営	「新たな価値」・「イノベーション」を創出するため、会員との共催企画（課題解決型ワークショップ等）や専用ウェブサイトでの情報発信（会員の課題・ニーズ等）などを行い、会員同士のネットワーク形成による自発的な共創プロジェクト創出を支援した。 会員数：387者（令和6年3月末日時点） 共催企画開催回数：3回 共催企画参加者数：延べ95名	2,560千円
経営力向上セミナー	世界のビジネスの潮流やデジタル技術の動向、企業のイノベーション事例、変革期における経営の考え方などを学ぶ連続セミナーを開催 開催回数：4回 参加者数：延べ461名	

- ② 地域の産業社会にイノベーションをもたらす可能性のある、デジタル技術を活用して行う新たなビジネスの社会実証または実装プロジェクトを支援した。（補助上限額：3,000万円（県内スタートアップが参画する場合は200万円を加算）、補助率2/3）

区 分	採択件数	補助金額
ぐんまデジタルイノベーション加速化補助金	10件	119,001千円

- ③ 新規事業創出の手法を体系的に学び、異業種連携による社会課題解決型プロジェクト立ち上げを目指すワークショップ型カリキュラムを実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
課題解決型新事業創出 カリキュラム「Next Base」	実施期間：令和5年11月～令和6年2月 （全6回） 参加者数：20名 プロジェクト組成数：5件	4,189千円

- ④ 地域課題やニーズを起点とした官民共創によるイノベーション創出を図るため、自治体が抱える地域課題を発表し、解決ソリューションを持つ企業・団体とのマッチングを実施したほか、官民共創プロジェクト創出に向けた伴走支援を実施した。現在も複数の提案企業と官民共創プロジェクトが進行している。

区 分	事 業 内 容	事業費
ぐんまガバメントピッチ	開催日：令和5年11月28日 登壇自治体数：2自治体 （太田市、沼田市） 参加者数：110名	3,509千円

- ⑤ オープンイノベーションによる雇用創出を目的とし、LAB 会員を中心とした異業種間のマッチング支援およびプロジェクトをビジネスに昇華させるための伴走支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
共創プロジェクト創出によるビジネスモデル構築支援	面談の中で各者の課題を把握し、ニーズに基づいたマッチング支援を実施。(11月・12月の面談にて各社の課題を把握し、1月にマッチング候補企業を交えた面談を実施) 参加者数：23者	3,608千円

(2) 未来投資促進

決算額 1,768,747千円

本社機能や試験研究施設の移転、県内企業の投資拡大を促進するため、東京圏、大阪圏での営業、企業誘致推進補助金や地域未来投資促進法等の優遇措置の活用など、誘致活動を展開した。その結果、令和5年工場立地動向調査において、立地件数(41件)で全国第4位と全国上位の実績に繋がった。また、特別高圧電力の価格高騰の影響を受けている県内事業者に対して、電気代高騰分の一部を支援した。

区 分	事業費
誘致活動及びフォローアップ(訪問件数：397件)	
企業誘致推進補助金(交付件数：3件)	173,701千円
特別高圧電力価格高騰対策支援金(交付件数：56件)	1,579,698

(3) 未来創造型企業誘致

決算額 9,062千円

県内産業の高付加価値化に資する企業による県内投資を促進するため、知事による外資系企業等向けのプレゼンテーションや都内イノベーション施設を通じた企業等との交流による関係構築などを実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
外資系企業等向けプレゼンテーション	在日海外商工会議所の主催事業において、知事が群馬県の投資環境の魅力等についてプレゼンテーションを実施。 ・在日カナダ商工会議所(令和5年4月14日) ・在日フランス商工会議所(令和5年11月28日) ・在日ドイツ商工会議所(令和6年2月9日)	1,459千円

(4) スタートアップ支援

決算額 14,463千円

- ① 新たなビジネスモデルやプロダクト・サービスを有するスタートアップやベンチャー企業、事業者が登壇するイベント(NETSUGENピッチ)を実施した。

区 分	開催回数	登壇者数 (延べ)	聴講者
NETSUGENピッチ	11回	56者 + 高校10校	583名

- ② スタートアップ、起業家という切り口でビジネスを学び、興味関心を深めてもらうことを目的としたセミナーを実施した。

区 分	参加者数
スタートアップ・エコシステム醸成セミナー	50名

- ③ 成長意欲あふれるスタートアップ、ベンチャー企業に対して、専門事業者による短期集中的な経営支援プログラム（アクセラレーションプログラム）を実施した。

区 分	内 容
ぐんまスタートアップ アクセラレーション プログラム	支援対象者数：5者 プログラム提供期間：6ヶ月間 成果発表会参加者数：33名

- ④ 金融機関、研究機関等と設立したコンソーシアムにより、研究開発型のスタートアップの創出に向けた支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
ぐんまテックプラングラ ンプリ	大学等の研究機関や企業の科学技術の事業化を支援するため、研究シーズをプレゼンテーションするコンテストを開催した。 ・参加者：約90名 ・ファイナリスト：8チーム (エントリー 23チーム) ・パートナー企業：4社	5,000千円

- ⑤ スタートアップ事業拡大支援を目的として、地域（県域）で閉ざされた環境ではなく、県域を越えた支援が獲得可能な環境を創出するため、関東経済産業局、茨城県、栃木県、長野県と連携したピッチイベントを開催した。

区 分	登壇者数	聴講者
北関東・信州広域連携ピッチ	8者	119名

(5) 創業支援

決算額

40,006千円

- ① 学生や女性向けに創業機運の醸成を目的としたイベントを開催した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
創業者創出ミーティング の開催	・学生向け 起業家によるセミナーやビジネスプランを作成・発表するプログラムを実施 (高校生) 実施校数：5校、参加者数：758名 (大学生) 参加者数：14名 ・女性向け 女性創業者と参加者が対話交流できるセミナーの開催 参加者数：25名	948千円

- ② 地域課題の解決に向け、新たに起業する者に対して起業支援金の交付と、起業後のフォローアップにより、創業から事業の安定化に向けた支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
地方創生起業支援	地域課題の解決に向けて新たに起業した者を対象に起業支援金の交付と、起業後の伴走支援を実施。 ・起業支援金 21名、29,899千円	38,983千円

- ③ 群馬県産業支援機構において、創業前後の相談窓口を設置するとともに、ぐんま創業者支援塾を開催し、ビジネスプランの磨き上げ・マッチング支援を実施した。

区 分	事 業 内 容
相談窓口（ビジネスサポートBASEぐんま“ココカラ”）の運営	創業に関する相談件数 441件
ぐんま創業者支援塾	支援を希望する創業者を公募し、講座を開催するとともに、ビジネスプランの磨き上げ・マッチング支援を実施した。 ・支援創業者 5人

3 地域企業支援費

(1) 貸金業対策

決算額 987千円

貸金業法に基づき、資金需要者等の利益の保護を図るため、貸金業者の登録及び立入検査並びに苦情相談の処理を行った。

登録処理数 (うち更新登録)	登録業者数(令和5年度末)	立入検査件数	苦情相談処理件数
3件(2件)	12業者	2件	1件

(2) 新型コロナウイルス感染症対策関連制度融資基金積立

決算額 30,515千円

新型コロナウイルス感染症関連制度融資に係る信用保証料補助返戻金および運用益を基金へ積み立てた。

(3) 中心市街地・商業活性化推進

決算額 948千円

- ① 官民連携によるリノベーションまちづくり推進のための講演会を実施した。

区 分	参加人数
ぐんまりノベーションまちづくりセミナー 期 日：令和5年11月16日 講 師：鈴木 美央氏（O+Architekuture ltd. 代表） 場 所：群馬県庁32階 官民共創スペースNETSUGEN ※リアル会場とオンライン配信のハイブリッド方式での開催	47人

- ② 県商店街振興組合連合会が商店街振興組合に対して実施する、組合運営に関する指導、各種研修事業を支援した。

事業主体	補助額	事業内容
群馬県商店街振興組合連合会	800千円	指導事業、近代化講習、青年部研修会、後継者養成研修事業

(4) 大型店対策

決算額 897千円

- ① 県大規模小売店舗立地審議会運営

大規模小売店舗の立地に際し、その周辺地域の生活環境を保持する観点から、「群馬県大規模小売店舗立地審議会」を開催し、大規模小売店舗立地法の趣旨に則って、公平で適正な審査を実施した。

・大規模小売店舗立地法による審査

区 分	審 議 件 数	審 議 状 況
新 設 案 件	20件	意見なし：20件
変 更 案 件（増床等）	7	意見なし：7
計	27	意見なし：27

・群馬県大規模小売店舗立地審議会 令和5年度開催回数 6回

・群馬県大規模小売店舗立地審議会現地調査 令和5年度実施回数 27回

② 大規模小売店舗立地法に係る届出事務処理・指導

「大規模小売店舗の地域貢献ガイドライン」に基づき、大規模小売店舗が行う様々な地域貢献活動に係る実施状況報告書等の県への報告を求めており、県ホームページで公開している。

・提出状況 (令和6年3月31日現在)

区 分	店 舗 数
地域貢献ガイドライン計画書	73店舗
地域貢献ガイドライン報告書（直近3年以内に提出）	42

※対象店舗（店舗面積 6,000 m²超の大規模小売店舗）は 82 店舗

(5) サービス産業振興・物流機能強化推進 決算額 5,981 千円

① 新たなビジネスモデル構築や新事業展開を目指す事業者を対象に、顧客目線の商品開発、ビジネスモデルの転換、組織改革、資金調達等の支援を行い、県内事業者に取り組を展開した。

区 分	事 業 内 容	事業費
地域の稼ぐ力向上モデル事業 (参加事業者6社)	ワーク ショッ プ 開催回数：全5回 第1回：自社の存在意義を体現する商品・サービスアイデアの検討 第2回：商品・サービスアイデアの発表とフィードバック 第3回：先進企業視察 第4回：商品・サービスアイデアに基づく試作品の検討 第5回：試作品の発表とブラッシュアップ	5,931千円
	テスト マーケ ティン グ支援 試作品の展示やプレゼンテーションを実施し、事業性や実現可能性を検証。 期 日：令和6年2月2日～4日(3日間) 場 所：FabCafe Tokyo	
	成果 発表会 参加事業者6社より、取組事例を発表。 期 日：令和6年2月22日 会 場：群馬県庁32階 官民共創スペースNETSUGEN 参加人数：26名 ※リアル会場とオンライン配信のハイブリッド方式での開催	

② 物流機能強化推進

ア 物流業界の持続可能化に向けた取組や働き方改革等について事業者が発信するため、セミナーを開催した。

区 分	参加人数
物流セミナー（（一社）群馬県トラック協会との共催） 期 日：令和5年12月5日 場 所：プレヴェール渋川 ※リアル会場とオンライン配信のハイブリッド方式での開催 講 師：森田 司氏 （（一社）クオリティ・オブ・ライフ想像研究所 理事長） 石田 貴義氏 （群馬働き方改革推進支援センター 社会保険労務士）	94人

イ 物流DXに関する基調講演と、物流効率化に関するグループディスカッションを実施した。

区 分	参加人数
物流効率化ミーティング 期 日：令和5年9月5日 場 所：県庁32階 官民共創スペースNETSGEN ※リアル会場とオンライン配信のハイブリッド方式での開催 講 師：渡辺 健太氏 （ハコベル（株） 物流DXシステム事業部）	41人

(6) ニューノーマル創出支援 決算額 718 千円

消費者の信頼性の確保や消費喚起による地域経済の活性化を図るため、各業界団体等が作成した感染症対策ガイドライン等に基づき、感染症対策を適切に行っている店舗を「ストップコロナ！対策認定店」として認定していた。

令和5年5月8日をもって、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に引き下げられたことを受け、同日付けで認定制度を廃止、令和5年度は制度廃止に関する事務のみを行った。

(7) 経営力強化支援 決算額 23,698 千円

- ① 経済環境の変化に対応して、新事業や新分野進出などに取り組み、経営の向上を目指す中小企業を支援するため、中小企業等経営強化法に基づく「経営革新計画」の承認を行った。計画の承認を受けた企業では、制度融資等支援措置の活用による設備投資、新たな事業活動による受注拡大のほか、社外（金融機関、取引先）からの評価の向上、社内におけるモチベーションの向上等の成果が上がっている。

区 分	件 数
経営革新計画の承認	26件

- ② 県内企業のBCP（事業継続計画）策定率向上を目指し、中小企業が取り組みやすい「群馬県版オールハザードBCP策定フォーマット」を開発し、セミナーやワークショップ等により、県内企業のBCP策定支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
オールハザード型BCP策定支援	BCPセミナー（基礎・概論セミナー）の実施 ・参加者数：60社75名 群馬県版オールハザードBCP策定ワークショップの開催（計5回） ・参加者数：48社60名 BCMセミナー（BCPの運用に必要な見直しに関する講演及び演習）の実施 参加者数：15社18名	3,914千円

- ③ 中小企業の中核的支援機関である（公財）群馬県産業支援機構の取組を支援し、中小企業経営力強化、地域経済の活性化を図った。

内 容	補助額
経営総合相談窓口運営（相談1,732件）、 事業承継・引継ぎ支援センター（相談315件、成約66件）	19,335千円

(8)事業承継支援

決算額

7,802千円

県内中小企業の円滑な事業承継を促進するため、「事業承継診断」、「事業承継計画策定支援」のほか、後継者不在事業者へのマッチング支援等を行う「ミライマッチング×継業イノベーター促進事業」、中小企業の後継（予定）者の新規事業等を支援する「アトツギベンチャー支援事業」を実施した。

事業区分	事業内容	事業費
群馬県事業承継ネットワークによる事業承継診断実施等支援	県内中小企業者に対して、早期承継準備の働きかけ、支援ニーズの掘り起こし等を行う「事業承継診断」「事業承継計画策定支援」の実施。 ・事業承継診断実施件数：3,638件 ・事業承継計画策定件数：205件	7,802千円
ミライマッチング×継業イノベーター促進事業	オープンネーム型マッチングプラットフォーム「ミライマッチング」を開設し、後継者不在事業者と継業希望者のマッチングを支援するとともに、若手人材等へ継業の魅力を訴求し、多様な担い手の参入を促す取組として「継業イノベーターCamp」を実施。 ・ミライマッチング掲載・成約件数 掲載：17件、成約：6件 ・継業イノベーターCamp参加人数：11名	

事業区分	事業内容	事業費
アトツギベンチャー支援事業	中小企業の後継（予定）者に対して、事業承継を契機とした新規事業開発等に積極的に取り組めるように機運醸成、後継者支援を行う。 ・アトツギベンチャー参加事業者：4者	

(9) 地場産業総合振興対策

決算額

27,142 千円

- ① 本県繊維産業産地の活性化を図るため、「産地組合」や「企業グループ」が行う事業に対して補助を行った。

区分	事業者数	事業内容	補助金額
繊維産業産地活性化推進補助	5団体	本県繊維製品の販路開拓、地域ブランド確立及び人材育成等に対する支援	8,520千円

- ② 伝統産業である繊維産業の活性化、サステナブルファッション推進の機運醸成を図るため、ファッションショーやキャンプ関連の展示・体験イベントを開催した。

区分	事業内容	事業費
JIVAリノベーション ～FASHION & CAMP FES～	期 日：令和5年11月23日 来場者数：1,800名 協力企業：12社	9,075千円

- ③ 繊維をはじめとする県内地場産業の活性化を目的として、専門家による相談・助言体制のもと、県内ものづくり事業者等の連携による、リトリートの視点を取り入れた新たな商品開発の支援を実施した。

区分	事業内容	事業費
サウナ・スパ関連商品等開発支援事業	参加者：6チーム19者 開発商品数：9（繊維5・食品4）	4,000千円

- ④ 地域資源を活用した中小企業者の販路開拓を支援するため、群馬県産業支援機構と連携して国際見本市への共同出展を実施した。

区分	事業内容	事業費
スーパーマーケット・トレードショー2024	期 日：令和6年2月14日～16日 会 場：幕張メッセ 参加企業：7社 商談件数：323件	2,330千円

- ⑤ 郷土の自然とくらしの中で生まれ、受け継がれてきた伝統的な工芸品の存在を広く県民に認知してもらうため、展示会を開催した。

区分	事業内容	事業費
群馬県ふるさと伝統工芸品展	期 日：令和5年10月27日～30日 場 所：県庁県民ホール 出展品目：23品目 来場者数：のべ2,546人	1,650千円

- ⑥ 企業と学生とのデザインマッチングを開催し、若者の感性を取り入れた県内企業によるものづくりを支援した。

区 分	事 業 内 容
デザインマッチング	実施企業：4社 参加教育機関：3校（県内）

(10) 中小企業技術振興対策 決算額 55,271千円

中小企業の新技術・新製品開発に補助し、デジタル技術を活用した製品開発やDX推進等を支援することにより、「稼ぐ力」の向上を図り、競争力を高めた。

区 分	事業者数	対象事業費	補助金額
ぐんまDX技術革新補助金	11社	88,302千円	42,360千円
ぐんま技術革新チャレンジ補助金	28	28,826	9,321

(11) 次世代モビリティ産業参入支援 決算額 43,190千円

（公財）群馬県産業支援機構に設置した「自動車サプライヤー支援センター」において、コーディネート活動や電動化への技術支援の強化及びデジタル化対応に向けた人材育成等を実施した。

区 分	事 業 内 容	事業費
コーディネーター	専任コーディネーターが県内自動車サプライヤー企業等からの相談に対応（60社・146件）	36,625千円
人材育成講座	E V化を見据えた関連技術の知識や技術の理解を促進し、ハードウェアとソフトウェアの両方の知識を有するエンジニアを育成。 ①CAE基礎講座（樹脂射出成形向け） 開催日時：令和5年8月29日～30日（2日間） 参加人数：8名（5社） ②CAE基礎講座（プレス成形向け） 開催日時：令和5年9月13日～14日（2日間） 参加人数：8名（5社）	
E Vティアダウン展示・説明会	電動車部品の展示及び技術者による解説 開催日時：令和5年10月3日～5日（3日間） 参加人数：266名（92社）	
業界動向セミナー	カーメーカーの技術動向、サプライヤーのデジタル化講座等を開催 開催日時：令和5年10月12日 参加人数：86名（61社）	
勉強会	提案力・企業変革力を持つ地域サプライヤー群への成長支援を目的とした勉強会を実施 開催日時：令和5年8月1日、10月25日 令和6年1月30日、3月14日 参加人数：のべ54名	

区 分	事 業 内 容	事 業 費
展示会出展支援	県内自動車サプライヤーのPR・マッチングの場を提供するため、大規模展示会への出展費用の一部を県で支援 開催日時：令和6年1月24日～26日（3日間） 出展企業：9社	6,565千円

(12) スマートファクトリー創出支援

決算額

26,064千円

デジタルソリューションラボを拠点に、IoT・AI・ロボット・5G等のデジタル技術を導入してスマートファクトリー化を目指す県内中小企業を支援した。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
コーディネーター	①スマートものづくりコーディネーター デジタル技術導入推進のため、コーディネーターを配置し、企業の現場で助言・指導を実施 導入支援数：39社 ②ロボット導入支援専門家派遣 ロボット導入に係る相談対応を実施 専門家派遣：7社	20,404千円
ロボットシステムインテグレーター育成講座	開催日時：令和5年12月5日～7日（3日間） 参加人数：18名	
スマートファクトリー化支援セミナー、先進事例勉強会	①スマートファクトリー化支援セミナー 開催日時：令和5年10月13日 参加人数：47名 ②先進事例勉強会 開催日時：令和5年11月14日、15日（2日間） 参加人数：10名	
IoT活用セミナー、人材育成講座	①IoT活用セミナー 開催日時：令和5年10月12日 参加人数：32名 ②IoT活用人材育成講座 開催日時：令和5年10月～令和6年1月（6日間） 参加人数：20名	4,113
3D金属積層技術講座	開催日時：令和5年12月（5日間） 参加人数：13名	1,540

(13) ぐんまスペース&エアロプロジェクト

決算額

10,315千円

県内企業の宇宙ビジネス参入に向けた衛星データ解析技術を含む実践的な研修や、実際に衛星データ利活用による地域課題解決のためのモデル事業を行った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
衛星データ利活用 チャレンジセミナー	衛星データ利活用に関する宇宙ビジネスの実態や、衛星データの解析手法の基礎を学ぶための連続研修 開催日時：令和6年1月18日、2月1日、2月15日、2月29日（全4回） 参加人数：24名	4,319千円
衛星データ利活用 モデル	①県職員向け衛星データ利活用セミナー 開催日時：令和5年10月19日 参加人数：11名 ②モデル事業 次の3テーマについて県内企業と連携して衛星データ利活用のモデル事業を実施 ・ナラ枯れ被害状況調査 ・特定都市河川流域の開発状況監視 ・公共施設の被災状況調査	5,445

(14) 海外ビジネス展開支援

決算額

16,539千円

- ① 事業者の海外展開に関する具体的な課題解決のため、ジェトロや金融機関等の支援機関と連携して事業を実施した。

区 分	事業内容
ジェトロ群馬貿易情報 センターとの連携	・貿易投資相談件数：282件 ・セミナー、商談会：12回 ・ハンズオン支援：11社

- ② 輸出に関する基礎知識の習得から実践となる商談会参加までを一貫して体験する、パッケージ型の支援を行った。

区 分	事業内容
グローバルビジネス実践塾	参加企業数：26社（加工食品・雑貨事業者） セミナー・ワークショップ：6回

- ③ 国際見本市に群馬県ブースを設け、県内企業に海外バイヤーや国内商社との商談機会を提供した。

区 分	事業内容	事 業 費
東京インターナショナル・ ギフト・ショー春2024	日 程：令和6年2月6日～8日 場 所：東京ビッグサイト 出展企業数：6社 商談件数：229件	2,253千円

- ④ 越境ECへの参入を目指す事業者を対象に、基礎的なセミナーやテストマーケティング等の支援を行った。

区 分	事業内容	事業費
越境EC参入支援事業	参加企業数：9社 出品商品数：11品 販売金額：40,725円	3,255千円

(15) 受発注振興対策

決算額

19,549千円

- ① 展示商談会「ぐんま Tech EXPO」を実施するほか、常設オンライン展示場「GUNMA VIRTUAL EXPO」を活用し、リアルとバーチャルのハイブリッドで販路拡大・ビジネスマッチングを支援した。

区 分	事業内容	事業費
ぐんま Tech EXPO 2023	日 程：令和5年10月12日、13日 場 所：Gメッセ群馬 出展企業数：182社 来場者数：2,200人 商談件数：560件	5,442千円
オンライン展示場 「GUNMA VIRTUAL EXPO」	掲載企業登録数：610社 ユーザー登録数：1,722人	458

- ② 取引の受発注のあっせん、経営及び技術指導、情報提供等の事業を行う群馬県産業支援機構への補助を通じ、下請中小企業の経営の安定化を図った。

区 分	事業内容	事業費
下請中小企業取引情報提供等 事業費補助	下請あっせん 企業訪問件数：504件 あっせん件数：352件 成約件数：32件	11,520千円
関東5県 ビジネス マッチング 商談会	期 日：令和5年9月6日 参加企業：52社 商談件数：245件	
個別マッチ ング	参加企業：39社 商談件数：86件	

(16) 事業多角化・新分野参入支援

決算額

21,304千円

- ① 「事業多角化支援コーディネーター」が金融機関等との連携による事業計画策定も含めた国競争的資金獲得支援や各種マッチング支援等を通して、県内企業の多角化・新分野進出支援を実施した。

区 分	事業内容	事業費
コーディネーターによる伴走支援	企業訪問件数：192件 事業多角化に関する案件：43件 補助金獲得総額：41,800万円	18,654千円

- ② ものづくり企業の事業多角化を支援するため、成長市場参入による事業多角化を検討するにあたっての基礎知識やノウハウ、最新動向などを伝えるセミナー等を実施。

区 分	事 業 内 容	事業費
事業多角化戦略ゼミ（全4回）	テーマ：ものづくり企業におけるDX経営革新講座 期 日：令和5年10月20日 参加者：17人	2,296千円
	テーマ：DX実践企業事例講座 期 日：令和5年11月13日 参加者：30人	
	テーマ：DX実行計画手法講座 期 日：令和5年12月18日 参加者：30人	
	テーマ：DX実行計画策定講座 期 日：令和6年2月14日 参加者：30人	

(17) 産業技術センター 決算額 905,560千円

- ① 県内企業の新製品開発や製品の付加価値の向上に対する支援をより一層充実させるため、試験機器等を整備した。

区 分	機 器 名	事業費
産業技術センター整備	医療機器電気安全試験システム	26,975千円
	高精度三次元測定機	44,979

- ② 中小企業が必要とする技術情報の提供を行うとともに、技術者の研究開発能力の向上、技術課題の解決を図るための人材育成に関する研修等を開催した。

区 分	事 業 内 容
技術情報の提供	産業技術センター技術情報「まる得通信」配信：50,246件 ホームページによる情報提供（アクセス数：315,465件）
中小企業技術研修	受託研修（7課程）受講者：303人

- ③ 企業からの依頼による受託研究、企業とセンターとの共同研究を実施し、企業の技術開発力の向上を支援した。また、国等からの外部資金を積極的に導入し、実用的な研究開発に取り組んだ。

区 分	実施件数	研究経費
公 募 型 共 同 研 究	8件	24,000千円
受 託 研 究	63	60,021
次 世 代 産 業 創 出 研 究	1	1,000
試 験 ・ 分 析 高 度 化 研 究	8	5,162
国等の競争的資金を活用した研究	4	6,650

以上の実用化を前提とする開発研究に取り組んだ結果、13件の特許出願（県と企業等との共同出願）を行った。

- ④ 技術開発に関する企業からの相談や分析・試験・加工等の依頼試験に応じるとともに、センターが保有する計測機器等を開放し、県内企業の製品開発力、技術力の向上を支援した。

区 分	件 数
技 術 相 談	18,117件
依 頼 試 験	23,843
機 器 開 放	2,466

(18) 繊維工業試験場

決算額

171,060 千円

- ① 県内繊維関連企業の製品品質管理や製品開発を支援し、県内繊維製品の高付加価値化を図るため、機器整備を実施した。

区 分	整 備 内 容	事 業 費
繊維工業試験場整備	・接触冷感試験機	6,875千円
	・製織データ作成システム	3,872
	・積分球付紫外可視分光光度計	1,421

- ② 中小企業が必要とする技術情報をホームページ・情報誌等で提供するとともに、講師派遣・講演会等を行った。また、中小企業の人材育成のための研修を行った。

区 分	事 業 内 容
技術情報の提供	「せんい技術情報」等の発行・発信（延べ3,856件） 業務報告書配布（155冊）
研究発表等	研究発表：4件、講師派遣：13件、講演会等：8件
人材育成	専門技術研修（2課程）受講者：計13人

- ③ 企業と県で研究経費を負担し合う公募型共同研究、企業からの依頼による受託研究、国等の外部資金を活用した外部資金研究及び企業、大学等との共同研究を行い、企業の技術開発力の向上を支援した。

区 分	件 数	研究経費
公募型共同研究	5件	2,000千円
受 託 研 究	1	100
外 部 資 金 研 究	8	6,050

- ④ 企業のニーズに応じて、繊維製品に関する物理試験・化学試験をはじめ分析、加工、分解などの依頼試験等を行い、繊維業界の製品開発力・技術力の向上を図った。また、企業の抱える様々な技術問題に対応するため技術相談を行った。

区 分	件 数
依 頼 試 験 等	5,590件
技 術 相 談	4,508

4 観光魅力創出費

(1) リトリート推進

決算額

22,188 千円

- ① リトリートブランド構築

リトリートのイメージ定着・促進に向けてPRを強化したほか、リトリートプランの商品化促進に向けてプラン造成・販売支援を実施した。

区 分	事 業 内 容	実 績
リトリートプラン造成・販売支援	宿泊予約サイトと連携し、宿泊施設のリトリートプラン造成・販売を支援	・予約件数：254件 ・予約人泊数：1,383人泊

区 分	事業内容	実績
イメージ動画制作・配信	動画クリエイターとタイアップしたリトリートイメージ動画を制作・配信	・再生回数： 28万回
ウェブ広告配信	YouTube・インスタグラム・LINEで「リトリート＝ぐんま」の認知度拡大に向けた動画広告を配信	・リーチ数：1,217万回 ・視聴回数： 351 ・クリック数： 1.4

② リトリート環境整備

県内地域（4か所）からリトリート環境整備に向けた事業計画の提出を受け、アドバイザーによる現地視察を実施し、3件採択した。

実施主体	事業内容	事業年度
千代田町観光推進協議会	利根川河川敷における滞在拠点の整備及び周辺の寺社コンテンツ等の整備	令和5年度
桐生市黒保根町観光環境整備コンソーシアム	黒保根エリアにおける周遊性・長期滞在化のため、水沼駅周辺を整備	令和6年度
草津町リトリート推進共同体	温泉街周辺への周遊性を高めるため、スキー場のレストハウスを通年利用可能な施設へリニューアル	令和6年度

(2) インバウンド誘客促進

決算額

107,484千円

① 観光情報収集・発信

多言語の観光情報ウェブサイトやSNSの運用により、海外に向けて本県の観光情報を発信したほか、ウェブサイトへのアクセスやSNS登録者数を高めるための広告を各言語ページに掲載した。

区 分	対応言語	実績
ウェブサイト	英語・中国語（簡体字・繁体字）・タイ語	セッション（訪問数） 英 語：175,682回 繁体字：131,479 簡体字：10,036 タイ語：160,407 計：477,604 （令和4年度より105,701回減）
Facebook ページ	英語・中国語（繁体字）・タイ語	フォロワー数 英 語：19,103人 繁体字：23,437 タイ語：25,568 計：68,108 （令和4年度より16,953人増）
インスタグラム	英語・韓国語	フォロワー数 英 語：約8,638人 韓国語：約431 計：約9,069 （令和4年度より1,369人増）

② 広域連携誘客促進

北関東三県や群馬・埼玉・新潟三県連携、北陸新幹線沿線地域との広域連携等により、海外の有力メディアを活用したオンライン事業等を実施した。

区 分	実施内容	実 績
北関東三県広域観光推進協議会	高雄市旅行公会冬期国際旅展 出展	アンケート回収数：764件
北陸新幹線沿線地域広域連携	海外有力メディアを活用した 記事広告	本県関連記事掲載海外メディア：2社
関東観光広域連携事業推進協議会	SNS等オンライン情報発信	Facebookリーチ数(本県分)：296,676回

③ 海外セールスプロモーション

台湾、タイ、オーストラリア、米国等を主なターゲットとして、YouTuberやインフルエンサー等を活用した情報発信を実施した。

区 分	実施内容	実 績
訪日個人旅行者(FIT)向け誘客促進プロモーション	各国のYouTuberおよびインフルエンサーを活用した動画等による情報発信	再生回数 台湾：735,625回 タイ：405,937 米国・豪州：100,181
アドベンチャーツーリズムプロモーション	アドベンチャーツーリズムワールドサミットへの参加およびメディアによる情報発信	招請メディア：5者 掲載記事：8件

④ 受入環境整備

外国人誘客に取り組む宿泊施設や飲食店等の観光事業者を「外国人誘客のためのパートナー施設」として登録し、さらにパートナー施設の中でも外国人観光客がストレスフリーに滞在するための一定基準を満たしている施設を「Gunma Excellence施設」として登録した。また、オンライン研修会や対面研修会を通じて施設のレベルアップを行った。

区 分	新規登録数	累計登録数
パートナー施設	19施設	236施設
Gunma Excellence施設	12	82

⑤ 海外情報翻訳発信

観光情報の収集・翻訳・発信等を行う会計年度任用職員を雇用し、Facebookページやウェブサイト、各種プロモーション資料等、多言語での本県観光情報発信を行った。

(3) 旅行支援事業

決算額 2,551,438千円

① 愛郷ぐんまプロジェクト・全国割

新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の落ち込みに対応し、観光需要の喚起、県内地域の観光振興を図った。

ア 愛郷ぐんま全国割

区 分	内 容	事業費
令和4年 10月11日 ～12月27日	対象：日本国内居住者 条件：ワクチン3回接種又はPCR検査陰性 実施期間：令和4年10月11日宿泊～12月27日宿泊分 割引金額：交通付き宿泊旅行の場合 1人1泊あたり8,000円割引 上記以外の旅行の場合 1人又は1人1泊あたり5,000円割引 ※それぞれ旅行代金の40%を上限とする 地域クーポン：平日3,000円、休日1,000円	R5 2,551,438千円 (R4 19,071,278千円)
令和5年 1月10日～4月 28日、5月8日 ～12月22日	対象：日本国内居住者 条件：ワクチン3回接種又はPCR検査陰性（令和5年4月28日宿泊分まで） 実施期間：令和5年1月10日宿泊～4月28日宿泊分、5月8日～12月22日宿泊分 割引金額：交通付き宿泊旅行の場合 1人1泊あたり5,000円割引 上記以外の旅行の場合 1人又は1人1泊あたり3,000円割引 ※それぞれ旅行代金の20%を上限とする 地域クーポン：平日2,000円、休日1,000円	

・ R5 事業実績：389,630 人泊（R4 事業実績：1,404,424 人泊）

(4) ツーリズムイノベーション

決算額

22,901千円

ニューノーマルに対応した長期滞在化や高付加価値化、旅の分散化等の「新たな観光スタイル」の構築に係る取組を実施した。

区 分	事業内容	事業費
ニューツーリズム普及ゼミ	市町村や観光協会等を対象に知見やノウハウ、先進事例を紹介（4回開催）	2,750千円
ニューツーリズム創出支援（補助事業）	地域の関係者が一丸となって行う新たな観光スタイルの構築に向けた取組に対し支援を行った。 補助対象事業者：市町村、登録DMO、観光協会、商工会議所、商工会、旅館組合、NPO 法人などを構成員とする協議会、実行委員会、コンソーシアム等 補助対象経費：新たな観光スタイルの創出にかかる経費 採択方法：書類審査、現地調査及び審査委員会の審議により採択事業を決定 補助基準：①補助対象事業費 1,000千円以上 ②補助上限額 10,000千円 ③補助率 補助対象事業費の1/2 以内 採択件数：4件（うち3件実施）	20,151

(5) 観光事業振興対策

決算額

182,274千円

① 観光宣伝

バラエティに富んだ群馬の山々での山歩きや山麓観光などの魅力を掲載したガイドブックの作成、登山アプリと連動したデジタルバッジ獲得キャンペーンによる誘客促進等に取り組んだ。

また、デジタル広告の配信及び来訪計測を実施し、分析・効果検証を行った。

区 分	事業内容	事業費
ぐんまの山岳観光推進	群馬の山々での山歩きや山麓観光などの魅力を掲載したガイドブックの制作・市町村役場及びアウトドア用品店等への配布、登山アプリと連動したデジタルバッジ獲得キャンペーンによる誘客促進等 ガイドブック発行部数：20,000部 デジタルバッジキャンペーン 実施期間：令和5年9月15日～11月30日 デジタルバッジ獲得ユーザー：23,396人	11,800千円
Webマーケティング	デジタル広告の配信及び来訪計測の実施、分析・効果検証 広告配信期間：令和6年3月8日～28日 誘導回数：207,382回	8,228
国内広域連携	ドラ割「北関東周遊フリーパス」（ETC車限定で北関東三県内の高速道路が定額で乗り降り自由）の実施 令和5年4月1日～令和6年3月31日利用実績：20,305件	600

② 群馬県域DMOの推進

多様な関係者と連携して観光地域づくりを進めるため、県域観光地域づくり法人(DMO)である(公財)群馬県観光物産国際協会に事業を委託して実施した。

区 分	内 容	実 績
データプラットフォームの構築	各種のデータ（ビッグデータや統計データ、アンケート調査データ等）を県域DMOに集約し、観光客の動向や地域の課題をテーマに分析レポートを作成し、関係機関等に提供した。	レポート作成 13件 (内訳) 事業効果検証 1 意識調査 2 データ分析等 10
観光統計整備	データプラットフォーム構築に向けた取組の一環として各市町村の観光の現状と課題を把握するため、観光入込客数等の調査を実施した。	四半期調査 35市町村に照会 データ集計・報告 地点調査 県内30地点におけるアンケート調査の実施・集計・報告
ニューノーマル観光地域づくり実装	県内市町村や地域DMO、観光協会等と共通のテーマに基づいて協働し、地域における観光地域づくりの課題解決に向けた取組を加速させた。	協働事業実施 4件

③ ぐんまビジタートレ認証

本県を訪れる観光客が使いやすいトイレを「ぐんまビジタートイレ」として認証し、きれいなトイレを確保することにより、県内観光地のイメージアップと集客を図った。

区 分	認証箇所数
新規認証	4箇所 (4件)
更新認証	164 (146)

※認証箇所総数：261 箇所 (242 件)

④ ユニバーサルツーリズム推進

高齢や障害等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく旅行を楽しむことができる「ユニバーサルツーリズム」を推進するため、令和4年度に開設された「ぐんまユニバーサルツーリズム相談窓口」の運営やセミナーを開催した。

(6) 物産振興対策

決算額

938 千円

県産品の普及と品質向上を図るため、2年に一度の審査会を開催し、県内で生産又は主たる加工がなされたもので、食品表示法及びその他の関係法令に適合するものであることなど、一定の基準を満たす県産品を「群馬県優良県産品」として認定しているほか、(公財)群馬県観光物産国際協会と連携し、県内の百貨店を活用した観光物産展を開催し、県産品の認知度向上と販路拡大を図った。

また、本県を代表する「近代こけし」について展示販売を行うなど県内物産の振興を図った。

区 分	事業内容	事業費
群馬県優良県産品推奨制度	県内の事業者が企画製造販売を行う加工食品、工芸品等を審査の上、「群馬県優良県産品」として認定。 ・認定事業者数 135 事業者 ・認定商品数 254 品	153 千円
物産展開催	主な観光物産展の開催状況 ・高崎高島屋 出展者数：64団体 売上げ：32,474千円 ・スズラン前橋店 出展者数：56団体 売上げ：25,757千円	575
全群馬近代こけしコンクール	こけしの品質、意匠の改良及び技術の向上を図り、本県の「近代こけし」産業の振興発展に寄与するため、「第64回全群馬近代こけしコンクール」を開催 一般公開日：令和6年2月2日～2月6日 出品数：272点	210

(7) 大阪事務所運営

決算額

11,364 千円

関西圏において、群馬のイメージアップや誘客促進のため、本県の魅力ある観光地や特産物などを効果的に宣伝したほか、企業誘致活動等を実施した。

区 分	件 数	内 容
観光展・物産展開催	47回（延べ238日）	イベント開催、観光案内
観光・物産案内状況	3,216人	来所、電話
企業誘致情報収集	53件	企業訪問、企業誘致関連活動

5 eスポーツ・クリエイティブ推進費

(1) eスポーツ推進

決算額 76,515千円

① U19e スポーツ選手権 2023

本県のブランド力向上及び県内関連産業育成を図るため、19歳以下のチームによる全国規模のeスポーツ大会「U19e スポーツ選手権」を開催した。

区 分	事業内容
予 選	開催期間：令和5年11月(5日間・オンラインにて開催) 競技種目：2部門 参加チーム数：全159チーム
決 勝	開催日：令和5年12月10日 場 所：Gメッセ群馬 展示ホール 観覧者数：544人 動画視聴回数：14,267回（令和6年3月31日時点）

② 第3回全日本eスポーツ実況王決定戦

eスポーツ大会に欠かせない実況者の育成及び登竜門となる国内唯一のeスポーツ実況者の大会「全日本eスポーツ実況王決定戦」を開催した。

区 分	事業内容
予 選	開催期間：令和5年10～11月(提出された実況動画を審査) 【一般部門】参加者：42人 【オンライン部門】参加者：19人
決 勝	開催日：令和5年12月9日 場 所：Gメッセ群馬 展示ホール 観覧者数：349人 動画視聴回数：11,538回(令和6年3月31日時点)

③ 群馬県企業等対抗社会人eスポーツリーグ2023(愛称：GUNMA LEAGUE)

eスポーツを通じた社内コミュニケーションの活発化や社外人材との交流促進、若者への企業認知度向上を目的に、県内の企業対抗eスポーツ大会を開催した。

区 分	事業内容
予 選	開催期間： ・上期リーグ：令和5年7月～9月(6日間) ・下期リーグ：令和5年10月～11月(6日間) ・ルーザーズリーグ：令和6年1月20日 場 所：群馬県庁1階 県民ホール 参加チーム数：48チーム
決 勝	開催日：令和6年2月3日 場 所：イオンモール高崎 セントラルコート 参加チーム：8チーム

④ 教育的 e スポーツの推進

コミュニケーション能力や戦略的思考の向上など e スポーツの持つ教育的効果を生かすため、高校生と連携して e スポーツイベントを企画・開催した。

ア 太工 Super Drive

開催日：令和 5 年 7 月 22 日
場 所：イオンモール太田
主 催：県立太田工業高校
後 援：群馬県、太田市

イ ぐんま e スポーツフェスタ

開催日：令和 6 年 3 月 2 日
場 所：オープンハウスアリーナ太田
主 催：群馬県、共 催：太田市、後 援：太田市教育委員会
来場者数：3,400 人

⑤ e スポーツ関連産業・人材育成

e スポーツ関連産業の振興や人材育成の一環として、実際の e スポーツイベントの企画・運営を体験する就職氷河期世代向け就労支援研修を実施した。

区 分	事業内容
e スポーツから学ぶ イベントマネジメント & 配信業務	開催期間：【前期】令和 5 年 11 月～令和 6 年 1 月(全 6 回) 【後期】令和 6 年 1 月～3 月(全 6 回) 場 所：群馬県庁、けやきウォーク前橋 一般参加者：5 人 県内事業者：13 人

⑥ 福祉分野(障害者、高齢者)での活用

年齢・性別・身体能力等にかかわらず、誰でも参加しやすい e スポーツの特徴を生かし、県立特別支援学校や障害者・高齢者関係団体と連携の上、福祉分野での e スポーツ活用に取り組んだ。

ア 障害者 e スポーツ体験会

区 分	事業内容
障害者向け	日程・場所：令和 5 年 10 月 9 日・群馬県庁 31 階 GINGHAM

イ シニア e スポーツ講座

開催日・場 所：令和 5 年 6 月 21 日 館林市六郷公民館 令和 5 年 12 月 1 日 みなかみ町保健センター
参加者：延べ 22 人

ウ シニア e スポーツ体験会(キャラバン隊)

開催日・場 所：指導者向けセミナー 令和 5 年 9 月 29 日 群馬県生涯学習センター
体験会 令和 5 年 10 月～令和 6 年 3 月(全 12 か所)
参加者：延べ 450 人

(2) クリエイティブ推進

決算額 62,680 千円

① デジタルクリエイティブ人材育成

2040 年までにクリエイティブな企業や人に選ばれるクリエイティブ拠点化を推進す

るため、全国初のデジタルクリエイティブ人材育成拠点「tsukurun-GUNMA CREATIVE FACTORY-」を運用した。

ア 施設の概要

施設の概要
場所：アクエル前橋 2 階 対象者：県内在住在学の小中高生 体験できる主な技術：3DCG、2DCG、ゲームエンジン、VR、VFX など

イ 令和 5 年度実績

令和 5 年度実績
年間利用者数：3,530 人(令和 4 年度：2,955 人) 新規登録者数：448 人 イベント実施回数：154 回 出張講座：14 か所で実施

ウ デジタルクリエイティブコンテストの実施

応募件数：前期（7 月 7 日～9 月 18 日）・・・29 作品 後期（12 月 1 日～1 月 31 日）・・・69 作品
--

② TUMO センター導入準備

国際的に評価が高く、世界レベルのデジタル技術や芸術に関するプログラムを中高生に対して無償で提供する TUMO センター（アルメニア）をアジアで初めて群馬県に設置することに向けて、調査等を実施した。

区 分	事業内容
導入可能性調査	導入に係る経済効果等やその効果的な運用方法について、調査を実施
空間デザイン	内外観、レイアウト及び家具備品等の空間デザインを作成
契約サポート	TUMO センターの与信調査及び契約書のひな形を作成

③ クリエイティブ産業移転促進補助金

群馬県内に移転意向のあるクリエイティブ関連企業の移転を促進するため、移転に係る初期費用や運営費用等を補助する制度を創設した。

事業内容
企業誘致に向けて、人材確保のための専門学校紹介、物件紹介等の支援を実施 ・補助事業者の指定 1 社(令和 6 年度移転見込み) ※令和 5 年度の補助交付実績はなし（目標：4 社）

(3) 映像制作サポート

決算額 15,674 千円

① ぐんまフィルムコミッションによるロケ誘致

ぐんまフィルムコミッションを総合窓口として、県内のフィルムコミッション・市町村と連携し、映画・ドラマ等の撮影支援を実施した。

区 分	件数
映画・ドラマの支援等	・相談件数：421 件 ・支援件数：59

② 県内ロケ地等開拓

県内ロケ受入体制拡充のため、撮影に活用できるロケ地やロケ弁・機材レンタル等

に対応できる県内事業者を開拓し、ホームページに掲載した。

区 分	事業内容
県内ロケ地等開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・ロケ地：44件 ・撮影を支援する事業者：9社

③ 情報発信

ぐんまフィルムコミッションの専用サイト・SNSを活用し、撮影を支援した作品のロケ地等をPRした。

区 分	件数
ぐんまフィルムコミッション専用サイト	ページビュー(閲覧数)：428,350回 (期間：令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)
公式X (【群馬県公式】ぐんまフィルムコミッション)	インプレッション数(閲覧された回数)：1,324,835回 (期間：令和5年4月1日から令和6年3月31日まで) フォロワー数：約2,750人 (令和6年3月31日時点)

④ 知事トップセールス・トップ外交

クリエイティブ拠点化に向け、業界大手のクリエイティブ企業に対し、デジタルクリエイティブ人材育成での連携や大型映像作品制作の誘致をするため、知事によるトップセールスを実施した。

また、先進地視察や意見交換のため、トップ外交を実施した。

区 分	事業内容
トップセールス	クリエイティブ企業4社にトップセールスを実施 令和5年4月12日 Netflix 合同会社 令和6年2月19日 東映株式会社 令和6年3月11日 ワーナーブラザーズジャパン合同会社 令和6年3月11日 松竹株式会社
トップ外交	先進的なクリエイティブ企業や地域へのトップ外交を実施 <韓国> 日 程：令和5年8月30日 訪問先：CJ ENM スタジオセンター ソウル映像委員会 <米国> 日 程：令和5年11月14日、15日 訪問先：在ロサンゼルス日本国総領事館 Netflix 合同会社